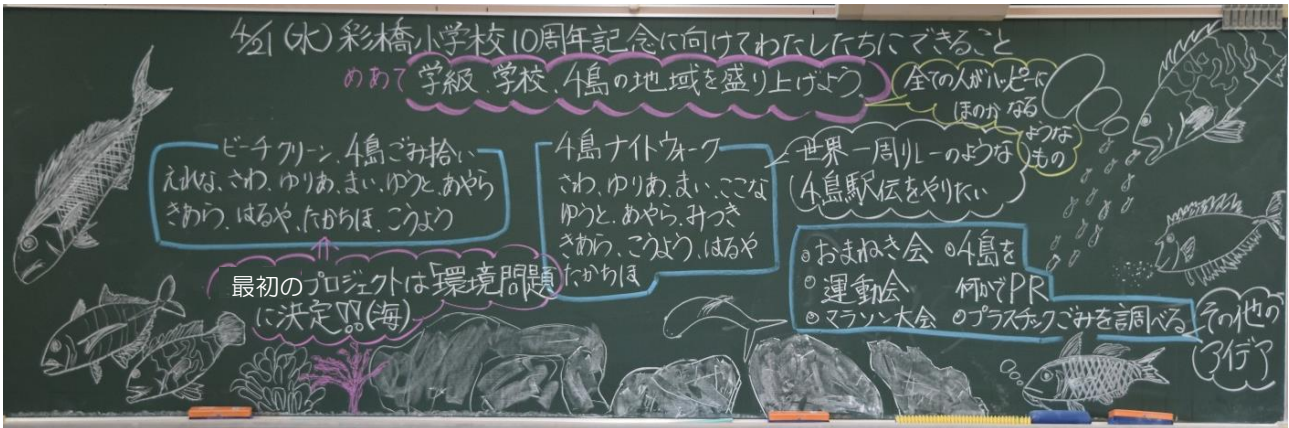


## 1 テーマ

SDGs 14 「海の豊かさを守ろう」  
～地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊～

## 2 テーマ設定の理由

特別活動の時間に、子どもたちと「彩橋小中学校創立10周年記念に向けて私たちにできること」について話し合いました。



子どもたちから、上の板書に書かれているような意見が出てきました。その中でも、地域の海の環境問題について目を向けている子が多く、話し合いの結果、ビーチクリーン活動に取り組むことになりました。テーマは、一人一人が考えた意見を持ち寄って創りました。(板書の絵は、子どもたちが描きました。絵からもわかるように、海が大好きな子が多い学級です。)

## 3 実践内容と工夫

子どもたちと創ったテーマである「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」の教育実践に取り組むために、以下の3つの視点で工夫を行っています。(現在も実施中)

- (1) 実社会や実生活の中から、子どもたちが自ら課題を見つけ「気づき・考え・行動」できるような実践計画を立て「生きる力」を育む
- (2) 他教科との関連を図った横断的・総合的な学習計画を立て「生きる力」を育む
- (3) 学校・家庭・地域社会を巻き込み「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦」プロジェクトに取り組み「生きる力」を育む

- (1) 実社会や実生活の中から、子どもたちが自ら課題を見つけ「気づき・考え・行動」できるような実践計画を立て「生きる力」を育む  
本実践テーマを実現するためには、まず、子どもたちが、自分たちの住んでいる地域の海の現状を知ることが大切です。また、世界で起こっている環境問題と結び付け、

自ら問いや課題を見つけられるような環境を整える必要があります。そこで、長期的な活動を視野に入れ、PDCAマネジメントサイクルに基づいた実践計画を立てました。(表1)の実践計画は、当初に計画した実践計画に、子どもたちのアイデアを付け加え、何度も変更しています。(見本がなかったので作成するのが大変でした!!)

【表1】実践計画

月	教科(時間)	学習内容
4月	特別活動 (1時間)	★学級会 議題「彩橋小学校創立10周年記念に向けて私たちにできることを考えよう!!」
5月	総合 (2時間)	★平安座島海岸のごみ調査 テーマ「自分たちの住んでいる地域の海の現状を調べよう!」
6月	特別活動 (1時間)	★学級会 議題「地域の海を守るために私たちにできること」についてアイデアを出し合おう!!
	総合 (1時間)	★平安座島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ作り テーマ「平安座島ビーチクリーン活動」に向けて思いが伝わるチラシをつくろう!!
	総合 (2時間)	★平安座島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布 テーマ「私たちの思いを届けよう!!」
	総合 (2時間)	★第1回平安座島ビーチクリーン活動 テーマ「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」
7月	総合 (2時間)	★平安座島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布 テーマ「私たちの思いを届けよう Part2!!」
	放課後の時間を利用	★平安座島への放送(ビーチクリーン活動の宣伝) ※地元の子が放送を行う!!(さわさん・ゆうとさん・ここなさん・はるやさん・ほのかさん)
	総合 (2時間)	★第2回平安座島ビーチクリーン活動 テーマ「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」
	総合 (1時間)	★「平安座島ビーチクリーン活動」の学習を振り返り、「浜比嘉島ビーチクリーン活動」へ向けての課題を立てよう!!
9月	特別活動 (1時間)	★学級会 議題「エストニア」との交流会で話し合う内容と役割を決めよう!!
	総合 (2時間)	★エストニア共和国とのオンライン交流会 テーマ「世界に発信しよう!!地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊!!」

10月	総合 (1時間)	★平安座島マイクロプラスチック調査(休み時間も利用) テーマ「あったらショック!!マイクロプラスチック調査Part1!!」
	総合 (2時間)	★環境教育新聞をつくる(放課後の時間も利用) テーマ「1年生でも理解できる環境新聞をつくろう!!」
11月	総合 (1時間)	★ボランティアの方々へ「感謝状」作成(宿題も利用) テーマ「心を入れて感謝状をつくろう」
	総合 (1時間)	★ボランティアを協力してくれたの方々へ「感謝状」配布 テーマ「ありがとう!!感謝の気持ちを伝えよう!!」
	総合 (1時間)	★浜比嘉島マイクロプラスチック調査(休み時間も利用) テーマ「あったらショック!!マイクロプラスチック調査Part2!!」
	総合 (2時間)	★浜比嘉島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布 テーマ「私たちの思いを届けようPart3!!」
	放課後の 時間を利用	★浜比嘉島への放送(ビーチクリーン活動の宣伝) ※地元の子が放送を行う!!(こうようさん・たかちほさん・ゆりあさん)
	総合 (2時間)	★第3回浜比嘉島ビーチクリーン活動 テーマ「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」
12月	国語科 (10時間)	★国語科との関連を図った授業実践 単元のゴール『「私たちにできること」を考え、未来をよくしよう!!』
	総合 (2時間)	★「浜比嘉島ビーチクリーン活動」の学習を振り返り、「宮城島ビーチクリーン活動」へ向けての課題を立てよう!!
1月	給食時間 を利用予定	★国語科との関連を図った授業実践 (食品ロス・フリーマーケット・ビーチクリーン・看板づくり)の提案
	総合予定 (2時間)	★浜比嘉島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布 テーマ「私たちの思いを届けようPart3!!」
	放課後の 時間を利用 予定	★宮城島への放送(ビーチクリーン活動の宣伝) ※地元の子が放送を行う!!(あおいさん・はるとさん・えれなさん)
	総合予定 (2時間)	★宮城島ペットボトル調査 テーマ「未定」 ★ペットボトル調査(どこから流れ着いているのか)
	総合予定 (2時間)	★第4回宮城島ビーチクリーン活動 テーマ「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」

2月	総合予定 (2時間)	★伊計島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布 テーマ「私たちの思いを届けよう Part4！！」
	放課後の 時間を利用 予定	★伊計島への放送（ビーチクリーン活動の宣伝） ※地元の子が放送を行う！！（きあらさん・まいさん・あやらさん）
	総合予定 (2時間) 休み時間	★第5回伊計島ビーチクリーン活動 テーマ「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」
3月	総合予定 (1時間)	★1年間の学習を振り返る テーマ「未定」
	総合予定 (1時間) 宿題で考え てもらおう	★今後ビーチクリーン活動を継続していくためにはどうしたらいいのかみんなでアイデアを出し合おう！！ (例) 校長先生の許可を得て、学校の年間行事に「ビーチクリーン活動」の取り組みを入れるなど！！

(2) 他教科との関連を図った横断的・総合的な学習計画を立て「生きる力」を育む

国語科の単元「私たちにできること」の学習と関連を図り、学習計画を立て、実践しました。国語科の学習では、「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。」「文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。」「目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。」「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。」を目標とし授業に取り組みました。また、総合的な学習の時間で、提案したことを実践に移すことまでを学習のまとめとし、自分たちの力で生活を変えていこうとする見通しをもたせ、子どもたちの課題意識が持続するよう工夫しました。

①単元のゴール（子どもたちと考えました）

「私たちにできること」を考え、未来をよくしよう。
--------------------------

②身に付けたい力（子どもたちと考えました）

- ・提案する文章構成を考え、1年生でも分かるような説得力のある提案文を書く力を身につける
- ・みんなと協力して最後までやりぬく力を身につける
- ・国語は苦手だけど、みんなで勉強して楽しむ力を身につける

③学習計画（子どもたちと考えました）

時	教科等	学 習 内 容
1	国語	身の回りで起こっている環境問題について考えたり、調べたりする。
2	国語	学習計画を立てて見通しを持つ。何のために学習するのかを考え、「身に付けたい力」を考える。

3	国語	取り組む内容を決める。 →今日の学習を振り返る
4	国語	提案文の特徴を理解する。 →今日の学習を振り返る
5	国語	提案のための資料を集める。 →今日の学習を振り返る
6	国語	提案する文章構成を考える。 →今日の学習を振り返る
7	宿題	アンケートの内容を考える。 →今日の学習を振り返る
8	国語	アンケートの内容について練り合い精選する。
9	国語	解決方法を考える。 →今日の学習を振り返る
10	国語	提案文を書く。 →今日の学習を振り返る
11	休み時間	校長先生に提案したいことの説明を行い、取り組みについての許可を得る。 →今日の学習を振り返る
12	給食時間	学校全体に呼びかける。 →今日の学習を振り返る
13	総合	取り組みを実行する。 →今日の学習を振り返る
14	国語	実践を通しての振り返りを行う。 (実践を通しての感想、身に付けたい力について等)

(3) 学校・家庭・地域社会を巻き込み「地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊」プロジェクトに取り組み「生きる力」を育む  
 子どものアイデアをもとに、学校・家庭・地域社会へ働きかけ、協力してもらえよう  
 な取り組みを行いました。

- ①新聞・テレビ・ラジオ放送を使った呼びかけや宣伝（子どものアイデア）
- ②ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配り（子どものアイデア）
- ③うるま市ボランティアセンターへの協力依頼（自治会からの提案）

#### 4 実践例

##### (1) ねらい

地域の自然（海）に目を向け、「SDGs 14海の豊かさを守ろう」と結び付け、環境問題について関心をもたせ、地域の海を守るために、自分たちにできることは何かを考え、子どもたちのアイデアを生かした「生きる力」を育む授業実践に取り組む。

##### (2) 児童の実態

本学級の子どもたちは、地域の海が大好きで、休みの日には、釣りや磯遊び、サーフィンなどを楽しんでいる子（17名中9名）が多く、また、地域の海の環境問題について関心をもっている子もいます。しかし、「飛人先生、毎年この島には、多くの観光客が『海がきれい』だと言って遊びに来ているけれど、案外ごみだらけの海なんですよ。知っていましたか?」「今後、海岸を掃除しないと観光客が来なくなるかも。」と話すなど、島に住む子どもたちのほとんどが、地域の海がごみ（漂着ごみ・海に訪れた人が捨てた可能性のあるごみなど）によって汚れている現状を知っているにもかかわらず、「ごみが落ちているのは分かるけど、拾うのは面倒臭い。」「いつか誰かが拾ってくれるはず。」「ボランティアの人たちが掃除をしているよ。」など、思いと行動が伴っていない状態であることも事実です。

### (3) 実践事例

#### ①平安座島海岸のごみ調査

テーマ【自分たちの住んでいる地域の海の現状を調べよう！！】

4月に、子どもたちと近くの海岸へ様子を見に行きました。すると、わずか200mほどの範囲内で、なんと「ごみ袋20枚以上」ものごみ（中には、2tトラックにしか乗らないようなごみも落ちていました）があり、子どもたちは「信じられない。」「なんでこんなにごみが捨てられているの。」「誰が捨てたのかな。」「車のシートとかありえないけど。」「常識のない人が多すぎるんじゃない。」「なんか、漁で使っている漁具もたくさんあるよ。」「台風で飛んできたのかなあ。」と、とてもショックを受けていました。



#### ②学級会

議題【地域の海を守るために私たちにできること】についてアイデアを出し合おう！！】



前回の衝撃的な状況を思い出した子ども達は「飛人先生、このプロジェクト無理があると思います。」「こんなにごみが捨てられているとは思わなかった。」「17名で1年間ごみを拾ったとしても終わらないですよ。」「切りが無いですよ。」「やっても無駄な気がします。」と落ち込んでいました。そんな重苦しい空気が漂う中、清愛さんが「飛人先生、新聞社やテレビ局に来てもらってこの現状をみんなに伝えたらいいんじゃないですか。」とつぶやきました。その意見を聞いた子どもたちは「いいね。」「みんなにこの現実を知ってもらえば、一緒にごみを拾ってくれる人が出て来るんじゃない。」「そしたら4島からごみがなくなるかも。」「ナイス清愛。」「うるま市にいるユーチューバーにもお願いし





城村長の奥田正光さん(93)は「体験することが一番大事だ」と児童らを激励。食事を宮心南庄総司さんは、児童らに飲み物を提供し「苦労さま」とねぎらった。配布した香村心夏さん(12)は「みんなが笑顔でポスターを受け取ってくれたことがうれしかった」と笑顔で話した。  
(与古田徳道通信員)



出来立てほやほやのチラシを配りに行きました。子どもたちは、今自分たちが取り組んでいることについてどのように説明したら伝わるのかグループで練習をし、ポスターを配っていました。とても緊張しているようでした。

### ⑤第1回平安座島ビーチクリーン活動

テーマ【地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊】

第1回平安座島ビーチクリーン活動を実施しました。20名(児童17名・職員2名)で約2時間かけて活動し、なんとごみ袋40枚分ものごみが集まりました。



今回は、生憎の天気のためボランティア参加者はいませんでした。子どもたちは「次は



1人でも来てくれるといいなあ。」とつぶやきながら一生懸命頑張っていました。自分たちの地域の環境を守ろうと頑張っている子どもたちはとても輝いていました。

⑥平安座島ビーチクリーン活動ボランティア募集のチラシ配布  
テーマ【私たちの思いを届けよう Part2!!】

前回実施した「平安座島ビーチクリーン活動」では、ボランティア参加者が0だったので、今回こそは参加してもらいたいという思いで、再度チラシ作成に取り組みました。そして、バージョンアップしたチラシを手に地域の方々へ自分たちの思いを届けに行きました。



うるま市立彩橋小学校(新垣邦彦校長)の6年生が同市4島のクリーン活動を計画している。平安座島を皮切りに浜比嘉島、宮城島、伊計島で1年かけて、ごみを拾う。16日

うるま市の4島クリーン活動への参加を呼び掛ける彩橋小学校6年生ら12日、うるま市与那城平安座

うるま市4島は観光地として知られるが、海岸沿いのごみ問題が課題だった。児童らが課題解決に向けて「実際に行動しよう」と声を上げたのがきっかけ。総合的な学習の時間を活用し、クリーン活動を始めた。6月から2度、平安座島の海岸沿いのごみ拾いを行ったが、2時間で20袋余りの量だったという。

釣り大好きという大城晴哉さん(12)は「このままだと魚が減ってしまう。ごみが少しでも減るよう頑張りたい」と話す。西浜海陽さん(11)は「本当にごみがたくさんあったので、1人でも多くの人の協力が必要だ」と訴える。

16日のクリーン活動に向けて、児童らは地域の商店などを回り、チラシを配布した。12日は、平安座公民館の防災無線で協力呼び掛けした。16日のゴミ拾いの参加者には手袋の用意を呼び掛けている。



また、地域の方々へ放送で呼びかけたいという子どもたちのアイデアから、放課後に自分たちだけで放送原稿のシナリオづくりに取り組み、お互いに放送練習する姿がみられました。

その後、各自治会の許可を得てボランティア募集の呼びかけ放送を行いました。子どもたちの「地域を巻き込む」というアイデアはすごいと思いました。協力してくれた自治会の皆様にも感謝です。

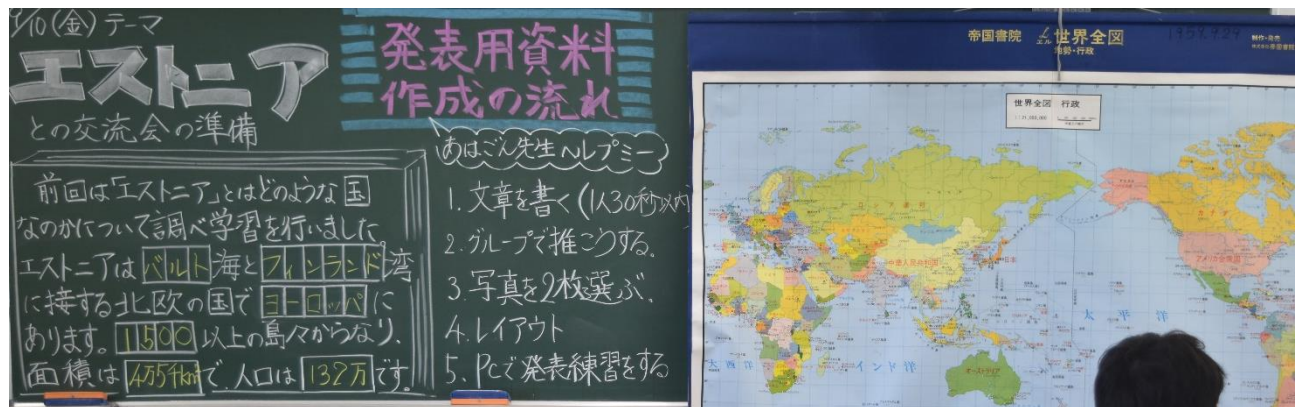
⑦第2回平安座島ビーチクリーン活動

テーマ【地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊】

7月16日(金)に「第2回平安座島ビーチクリーン活動」を実施しました。子どもたちとドキドキしながら集合場所へ向かいました。すると、遠くの方に人影が見え「飛人先生、人が大勢集まっているよ。」「すごいことになっている。」と子どもたちは大はしゃぎ。なんと80名以上の方々ボランティアとして参加してくれたのです。







エストニアとの交流会を通して、エストニアの環境問題についての取り組み内容を聞いた子どもたちは「自分たちも取り組んでみたい」と感心していました。また「英語は難しかったけど、とても楽しかったです。」「エストニアでは、たばこの吸い殻を捨てるごみ箱を川や海に設置することでごみが減るのかなと思いました。今度は自分たちだけで交流してみたいです。」と振り返ることができました。

- ⑪ ボランティアを協力してくれた方々へ「感謝状」配布  
 テーマ【ありがとう！！感謝の気持ちを伝えよう！！】



ビーチクリーン活動ボランティアに参加した方々へ、思いを込めて「感謝状」を作成し、感謝の思いを届けに行きました。



感謝状を渡した子どもたちは「感謝状を渡して、自分たちの思いを伝えることができたから、今度のビーチクリーン活動にも来てくれるかも。」「エストニアのクリーンアップ運動みたいに、もっとたくさんの人たちがビーチクリーン活動に参加してくれるといいな。」「次のビーチクリーン活動が楽しみ。」と振り返ることができました。「ありがとう！！感謝の気持ちを伝えよう！！」プロジェクト大成功でした。

## ビーチ清掃協力に感謝状

彩橋小中校 企業・団体へ手作り



沖縄銀行与勝支店に感謝状を贈る児童ら＝うるま市・同支店

【うるま】彩橋小中校(新垣邦彦校長)6年の全児童17人はこのほど、地域のビーチクリーンに協力した五つの企業・団体へ、手作りの感謝状を贈った。SDGs(持続可能な開発目標)で掲げる「海の豊かさを守ろう」をテーマに、総合学習の時間を通して「4島ピカピカクリーン大作戦」を展開。7月に手作った感謝状を渡した。形にできなかった」と話した。(与古田徳通通信)

のポスターを住民や企業などに配布し、参加を呼び掛けた。受け取ったのは沖縄銀行与勝支店、与勝消防平安座出張所、もりもりマリン、平安座自治会、宮城こども広場。大中洗希さん(12)は「ビーチクリーンに多くの皆さんが参加してくれてうれしかった」と笑顔だった。沖縄銀行与勝支店の國吉真仁支店長は「感動している。こっちが感謝したいくらいなのに、手作りの感謝状をもらってうれしい」と喜んだ。6年担任の佐久間飛人教諭は「もっと海をきれいにするためにビーチクリーンのメンバーを増やしたい。そのためにも感謝状を作って渡したい、と子どもたちからアイデアが出てきた。形にできなかった」と話した。

⑫浜比嘉島マイクロプラスチック調査（休み時間も利用）

テーマ【あったらショック！！マイクロプラスチック調査！！】

プラスチックは自然のものではないので、土にかえりません。なので、海や川、森の中で、いつまでもそこにあり続け、生き物に絡みついたり、環境を汚したりします。また、紫外線や波の力などによって、だんだんちいさなかけらになっていき、5mm以下になった「マイクロプラスチック」は、生き物の口に入りやすく、誤食した生き物の命を奪う原因となっています。また、プラスチックには、品質を保つために、「添加剤」が使われており、それらが溶け出し「環境ホルモン（お腹の中の赤ちゃんの育ちを阻害する、精子が減る、乳がんになりやすくなる）」という、生き物の体によくない作用があるものもあります。そんなマイクロプラスチックを誤食した魚を人間が食べたらどうなるのでしょうか。

**12(月) SDGs テマ 4島マイクロプラスチック調査**

**マイクロプラスチック調査**  
 砂浜に打ち上げられた大量のプラスチック類を知ったことはありませんか？海を漂うプラスチックには、2050年には海の生物の命を脅かすほどの量で世界中で最大の問題になっています。さらに、本島の海岸線でも、細かく砕けた大きさ5mm以下のマイクロプラスチックごみは、マイクロプラスチックと呼ばれ、小魚の生き物にも誤食されやすく、食物連鎖によって多くの生物に取り込まれ、影響を及ぼす恐れや、細かいマイクロプラスチックほど回収が困難になるなど、深刻な問題になっています。

**近所の砂浜でマイクロプラスチックを調べてみよう！**  
**用意するもの**  
 ・ポリバケツ  
 ・網（10×15メートル程度）  
 ・5リットル（網25センチ）  
 ・5リットル（網15センチ）  
 ・網（網10センチ）  
**調査する場所**  
 ・その日の海岸線付近  
 ・波が打ち当たる場所の生えているところ

**マイクロプラスチックの採集（砂浜での作業）**  
 ・25センチ×25センチ程度の網を、3リットルの水を入れたポリバケツの中に入れて、網を動かして、網の裏側にマイクロプラスチックを取り寄せ、25センチ×25センチの網に引っ掛かるようにして、マイクロプラスチックを採集し、ポリバケツに入れておきます。  
 ・ポリバケツの水を抜き、網を30分以上静置し、網の裏側にマイクロプラスチックが落ちてくるのを待ちます。網を動かして、網の裏側にマイクロプラスチックが落ちてくるのを待ちます。網を動かして、網の裏側にマイクロプラスチックが落ちてくるのを待ちます。

**マイクロプラスチックの集計（屋内で作業してもよい）**  
 ・マイクロプラスチックをプラスチック・発泡スチロール・プラスチック種・レジンペレット・その他に分けて数える  
 ・5mm以上のプラスチックも同じように分けて数える  
 ・数えた結果を集計用紙に記録する

海には 危険な生き物がいますので、勝手に触らないようにしましょう!!



【うるま】市立彩橋小中学校（新垣邦彦校長）6年の全児童17人は28日までに、浜比嘉大橋を渡ったたもの砂浜で、直径5mm以下のマイクロプラスチックがどれだけあるか調査した。児童は「現状を知って伝えて、クリーン活動につなげていきたい」と話した。

# 自慢の海守りたい

## うるま彩橋小中6年

**浜比嘉 マイクロプラを調査**

同校6年は、SDGs（持続可能な開発目標）で掲げる「海の豊かさを守ろう」をテーマに活動している。自分たちの住む自慢の4島（平安座、浜比嘉、宮城、伊計）の海と、海にすむ生き物を守るために今できることを考えて行動しよう、今回の調査に挑戦した。

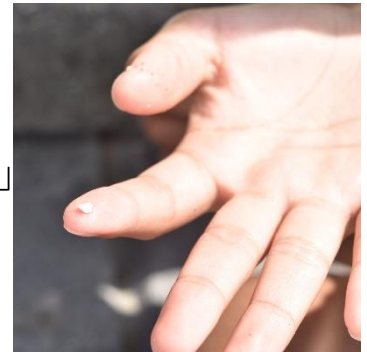
6年担任の佐久間飛人教諭が「砂の採取場所や、砂をこしてバケツの中で浮いたものなどを集計して、どのぐらいのマイクロプラがあるか、調べよう」と説明。児童らはスコップやバケツ、こし器を持って30分ほど真剣に作業した。

大城晴哉さん（12）は採取した砂をこして「見つけたけど多くはなかった。調査して現状を調査する児童らうるま市内





平安座島と浜比嘉島の海岸でマイクロプラスチック調査を行いました。約2時間の調査でマイクロプラスチックを見つけた子どもたちは「やっぱり、世界中の海はつながっているから4島にもマイクロプラスチックが流れ着いているのかも。」「ショックだなあ。」「でも、少ししか見つかっていないってことは、4島の海はまだきれいなほうなんだよ。」と話していました。



### ⑬第3回浜比嘉島ビーチクリーン活動

テーマ【地域の海を守ろう4島ピカピカクリーン大作戦・彩橋小6年1組ゴミ拾い隊】

11月に「浜比嘉島ビーチクリーン活動」を実施しました。子どもたちの呼びかけの効果で、多くの方々が参加してくれました。子どもたちへの「サプライズプレゼント」として、うるま

市内の8つのマリン業者でつくる「チームうるまマリン隊」の方々からオリジナルキャップ（SDGs 14のロゴマーク入り）の贈呈がありました。オリジナルキャップを手にした子どもたちは大喜びでした。



市内八つのマリン業者でつくる「チームうるまマリン隊」は児童全員にオリジナルキャップを贈呈した。代表の大城護和さん(41)は「頑張っている児童らにプレゼントしよう」と話し合っていた。これからも一緒に地域の海をきれいにしていこう」と呼び掛けた。6年の下茂門桜くさんは「オリジナルキャップをもらい、うれしいです」と喜んだ。(与古田徳通信員)

### うるま浜比嘉島周辺

## 彩橋小6年生地元と協力

### 小学生らビーチをピカピカクリーン活動

【うるま】市立彩橋小中学校の6年生の児童が11月24日、浜比嘉大橋東側の海岸と西側の浜比嘉ビーチを清掃するクリーン作戦を展開した。浜比嘉島の住民や企業などに呼び掛けて約80人が参加し、多くのごみを集めた。

同校は、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる目標「海の豊かさを守ろう」をテーマに、総合学習の時間を通して「4島（平安座、浜比嘉、宮城、清掃するうるま市・浜比嘉島）」をテーマに、総合学習の時間を

伊計）ピカピカクリーン大作戦」を展開しており、清掃活動は7月に行った平安座島での取り組みに続く第2弾。今回はチラシ配布や手作りの感謝状を参加企業などに手渡すなどして、参加する企業・個人が増えてきた。

浜比嘉島の浜区老人会の会員、中野信子さんの82は「チラシを見て参加した。大勢で掃除すると、はかどるさー」と張り切って清掃。同区の城間正宏自治会長は「子どもたちが考えた素晴らしい取り組みに感動する」と話した。平安座区の五嶋眞智子自治会長は「平安座島の次の第2弾ということで、平安座の自治会からも参加している」と汗を拭いた。



今回のビーチクリーン活動でも、ごみ袋100枚以上のごみが集まりました。子どもたちは「少しずつ4島の海の環境が良くなっていけばいいな。」と振り返っていました。

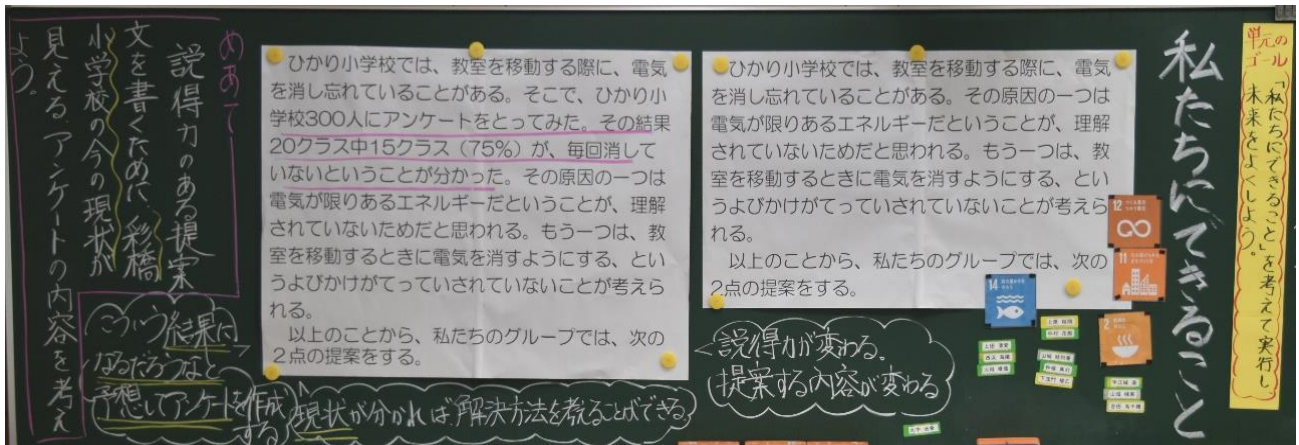
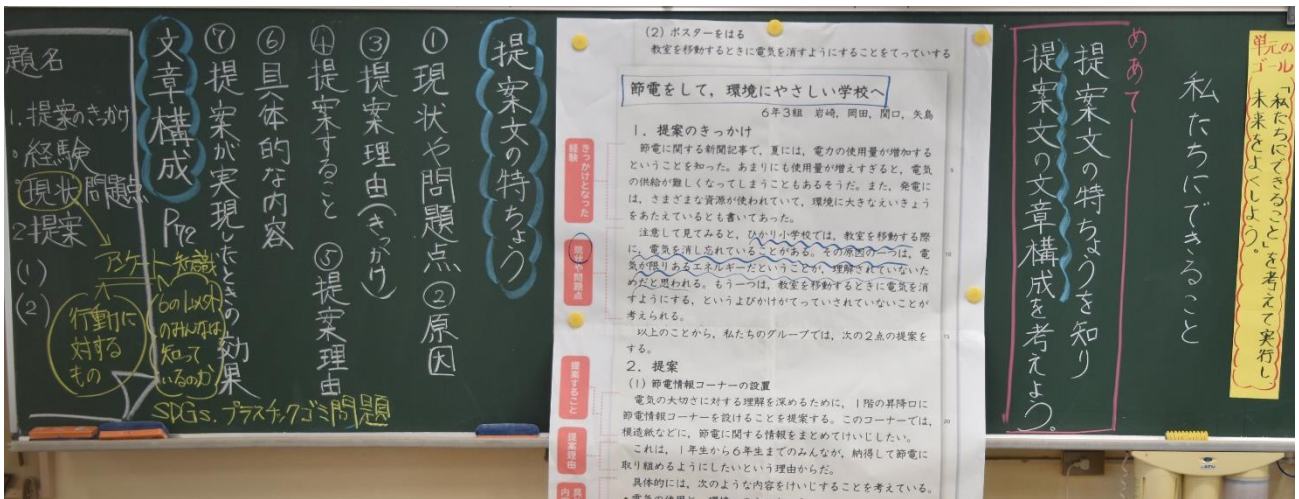
#### ⑭国語科との関連を図った授業実践

単元のゴール【『私たちにできること』を考え、未来をよくしよう!!】

国語科の単元「私たちにできること」の学習と関連を図り、学習計画を立て、実践しました。国語科の学習では、「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。」「文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。」「目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集







また、総合的な学習の時間で、提案したことを実践に移すことまでを学習のまとめとし、自分たちの力で生活を変えていこうとする見通しをもたせ、子どもたちの課題意識が持続するよう工夫しました。

(4) 児童の変容 (数名の子どもたちの振り返りより)

- ①5月から4島ビーチクリーン活動を続けてきて思ったことは、なんか学級がまとまってきたような気がします。たぶん、チームワークがよくなったからだと思います。第3弾の「宮城島ビーチクリーン活動」も早く取り組みたいです。
- ②最初は、ごみは汚いから拾うのが嫌だったけど、今はもう慣れてきてごみを拾えるようになりました。平安座島と浜比嘉島の海が少しはきれいになったと思います。第3弾の「宮城島ビーチクリーン活動」もがんばります。
- ③最初よりもだんだんビーチクリーン活動が楽しくなってきました。理由は、毎回仲間が増えていくし、海がきれいになっていくのがわかるからです。それに、最初は新聞記者やテレビ局の人からのインタビューに答えられなかったけど、2学期はだんだん慣れてきて、インタビューに答えられるようになったからです。
- ④エストニアとの交流会の後に、英語を勉強したいなと思いました。英語をがんばって、今度は英語で質問できるようになりたいです。自分たちだけで交流会をしたいです。

- ⑤5月に学級だけでビーチクリーン活動をしたときは、1年かけても4島の海をきれいにするは無理だと思っていたけど、活動していくたびにいろいろな人たちが協力してくれるので、もしかしたら4島の海をきれいにするができるかもしれないと思いました。

## 5 成果と課題

### (1) 成果

- ①自治的な活動が展開できる環境を整えることで、主体的・協働的に取り組む姿が見られました。また、一人一人のアイデアやよさを具体的に承認し勇気づけ、成功体験を味わわせることで、少しずつではありますが、自己肯定感・自己存在感・自己有用感が育ってきたのではないかと思います。

- ②国語科との関連を図った学習計画を立てて実践することで、これまでよりも主体的に学習に取り組む姿勢が見られました。また「文章全体の構成や展開を考える力、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる力」が少しずつ芽生えてきたのではないかと授業後のリフレクションを通して感じました。さらに、自分の考えが1年生にも伝わるように書き表し方を工夫することができました。

- ③SDGsの実現や、地域社会と連携した教育活動に取り組むことで、新しい時代に必要とされる資質・能力(知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 学びに向かう力・人間性)を少しずつ育むことができました。

- ④自ら課題を見つけ「気づき・考え・行動」できる子が増えてきました。

### (2) 課題

#### ①私自身の課題

- 成果で述べたこととは反対に、教室にごみが落ちていても気づかない子、気づいても行動しない子など、「気づく力」や「行動力」が身につけていない子もいますので、学校生活を通して「気づき・考え・行動」できるような子を育てていきたいです。
- まだまだ自己肯定感・自己有用感の低い子がいますので、今後も活躍の場を与えていきたいです。



## ②実践を通しての課題

- ビーチクリーン活動を実践して気づいたことは、ごみには「漂着ごみ」と「海に訪れた人が捨てた可能性のあるごみ」の2種類あるということです。その中でも、「漂着ごみ」の量が圧倒的に多いという現状に対して、地域の海を守るためにどのような解決策があるのかという課題を子どもたちと模索し続けています。
- 浜比嘉島のビーチの防砂林には「海に訪れた人が捨てた可能性のあるごみ」が大量にありました。時間をかけて地域の方々と協力して清掃しましたが、1か月後に様子を見に行くと、またごみが捨てられていました。中には、業者が捨てたであろう産業廃棄物まで捨てられていました。地域の海を守るためにどのような解決策があるのかという課題を子どもたちと模索し続けています。

## 6 まとめ

「彩橋小中学校創立10周年記念に向けて私たちにできること」について、子どもたちのアイデアをもとに取り組んできた活動が、地域社会を動かすプロジェクトへと発展していくとは思ってもみませんでした。改めて子どもたちの力やアイデアはすごいと思いました。今後も、子どもたちと共に「地域の海」を守り続けていきたいです。

### 〈参考書籍〉

- 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編
- 小学校学習指導要領解説 特別活動編
- 小学校学習指導要領解説 国語科編
- 特別活動指導資料 小学校指導要領準拠 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる 特別活動 小学校編
- プラスチック・スープの地球 汚染される「水の惑星」
- 2030年までにわたしたちにできることを考えよう！ 世界を変えるSDGs
- 未来の授業 SDGsライフキャリアBOOK
- 海のプラスチックごみ調べ大辞典
- プラスチックモンスターをやっつけよう！ きみが地球のためにできること
- 海洋プラスチックごみ問題の真実 マイクロプラスチックの実態と未来予測
- こども環境学